



ごんごバスにゆられて

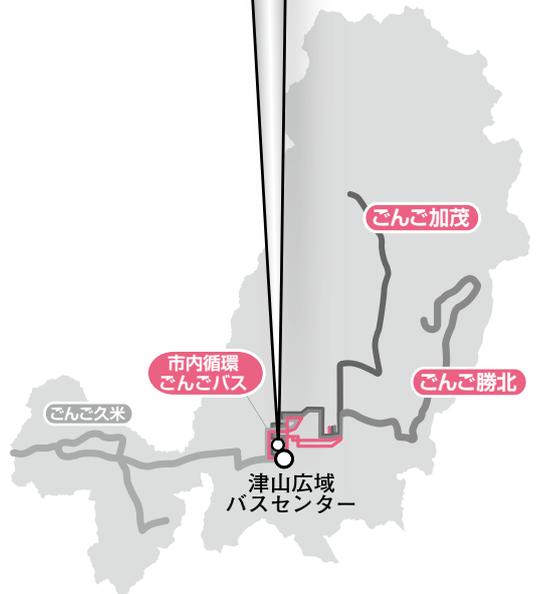


# 1世紀以上たつノスタルジックな洋館

## 津山高等学校本館（椿高下）

バス停から西に見える黒色の塔を指して200mほど行くと、薄いピンク色をした洋館・津山高等学校本館にたどり着きます。

この建物は、明治33年（1900）に旧岡山県津山中学校の本館として建築されました。明治期の旧制中学校で学校施設に使われている建物としては全国で初めて、平成7年に国重要文化財の指定を受けました。レンガ積みの上に木造で建てられ、正面が23間



（約42メートル）、側面が5間（約9メートル）。中央の前面は幅7間、奥行き1間分を突出させたうえで玄関ポーチを設置しています。屋根は寄棟造りで瓦葺とし、中央には塔屋を設け、その上に避雷針を設置しています。左右の屋根の前後には4カ所に切り妻形の屋根窓を付けて明かり取りとともに

にアクセントとしています。軒の下は型押し飾り風の装飾がされています。このような外観は、最盛期のイタ

リアルネッサンス様式をモデルとしたもので、軒廻りや窓、階段などに見事な意匠が施されています。

NHKのテレビドラマ「あぐり」のロケ地にもなったこの校舎は、毎年「十六夜祭・文化の部」（9月10日（木））で一般公開されています。貴重な建物を訪れてノスタルジックな雰囲気味わってみませんか。

問い合わせ先 津山高等学校

校 22・2204



●特集

AEDで救える命 .....3

○市政だより .....8

「城西浪漫館」オープン  
ごみ不法投棄  
津山市職員採用資格試験

ほか

【まちかど写真館】..... 12  
ごんちゃんとすごすなつやすみ ほか

【ごんごクラブ】..... 14  
未来をひっぱる津山人  
わたしのおすすめ

【けいじぼん】..... 17

【くらし】..... 22

【洋学博覧漫筆】..... 24  
～『蘭学重宝記』の秘密～